

# アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物

- 2面 ラオスプロジェクト・都知事選挙
- 3面 世界の動きから
- 4、5面 第2回理事会
- 6面 高江から日米同盟を見る
- 7面 列島 AALA
- 8面 私と AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2016年9月1日 No.674

7/26

## 日本 AALA 第 2 回理事会・常任理事会開催

# 安倍政権の改憲策動反対、

# 東アジア共同体づくりを



日本 AALA は、7月26日に第2回理事会・常任理事会を開催し、76人中54人が参加しました（参加率71%）。理事会は、理事から出された提案を含めて議案を全会一致で採択、「アジアの友人たちへ」のメッセージを理事の意見を踏まえて全会一致で採択しました。

議案討議では、述べ23人の理事が発言し、各都道府県のとりくみの成果を紹介しました。このなかで安倍政権の9条改憲策動に反対し、平和・協力・繁栄の東アジア共同体づくりを対置してたたかう方

針を確認しました。

国際情勢に関しては、緊迫する南シナ海をめぐる常設仲裁裁判所の裁定について関係各国の対応をよく見極め、外部からの介入に反対し、関係各国が軍事的対応でなくて、平和的な解決を求めていくことが重要であると確認しました。

理事会後の常任理事会は29人が出席し、国際署名、オスパールコーヒーの販売促進、各県 AALA の活動の充実など、述べ18人が発言しました。

（詳細は4、5面）

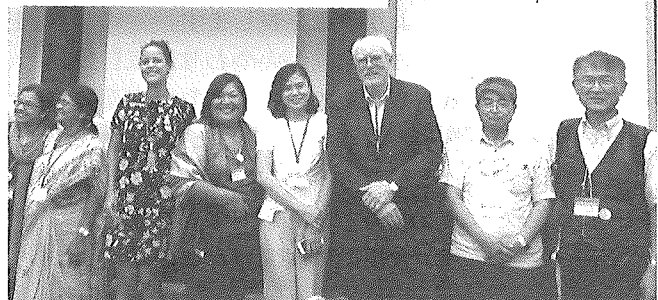
## 『ヒバクシャ国際署名』で核兵器のない世界を

8月2日～4日に広島でひらかれた原水爆禁止2016年世界大会・国際会議に、日本 AALA 常任理事の小林立雄さんが参加しました。小林さんは国際会議で、「日本 AALA としても『ヒバクシャ国際署名』を進めたい。被爆2世であり、物理学を学んだものとして核兵器と原発の関係、被爆について解明し、運動を進めたい」と発言しました。

（詳細は10月号に掲載予定）

原水爆禁止2016年世界大会・国際会議  
Nuclear Ban 2016 World Conference against A & H Bombs

核兵器のない平和で公正な世界のために  
Nuclear Weapon-Free, Peaceful and Just World



右端が小林立雄日本 AALA 常任理事

## ラオスプロジェクト④

ASEAN 主導を貫いた  
ビエンチャン会議の精神をいまこそ

少数民族モン族の親子

私が取材した、ラオス・ビエンチャンでの2005年7月のASEAN外相会議のハイライトは、その年の年末にクアラルンプール(マレーシア)で開催する第1回東アジア首脳会議(EAS)の参加国と開催方法の決定であった。

新たな参加国として注目されたのは、オーストラリアであった。同国は米国との軍事同盟が制約されるのを懸念していたが、結果的に同国の「長期的な利益を優先」(ダウン外相:当時)して、EAS参加を決めた。米国ものちに態度を変えて参加することになる。

ASEAN10カ国に加えて、その他の6カ国が参加することでASEAN色が薄まる可能性があっ

た(その後、米国、ロシアが参加して現在のEAS参加国は18カ国)。日本や中国などは、EASをASEAN地域とそれ以外の地域で交互に開催することを提案した。さっそく東京か、北京かと開催地の候補が話題に上がった。

ASEAN外相会議は、ASEAN加盟国以外からのASEANと域外国の交互開催の提案を含めて慎重に検討した結果、「ASEANが推進力となり、開かれた、外向的な、包括的な東アジア首脳会議を維持する」(同外相会議共同声明)ことを確認し、EAS開催国をASEAN加盟国とし、ASEAN加盟国が議長となることを決定した。あるASEANの高官は、「ASEANが運転席に座ることで

安全運転が保障される」と語っていた。

9月にはビエンチャンでASEAN首脳会議とともに、東アジア首脳会議が開かれる。南シナ海の紛争問題で、ハーグの常設仲裁裁判所は7月12日、中国の領有権主張に法的根拠がないとの裁定を下したが、中国はこの裁定の受け入れを拒否した。ASEAN内部でも意見の相違が出ている。今こそ、ASEAN主導で、粘り強く合意をさぐり、中国とも話し合いを継続するASEAN・WAY(「平和解決」と「全会一致」)を追求してほしい。

鈴木勝比古

(元「しんぶん赤旗」ハノイ駐在記者)

## 政治転換の方向を示した東京都知事選挙

## 共同をさらに広げ、要求実現、改憲NOのたたかいを

今回の東京都知事選挙は、参議院選挙での共同が発展し、30数年ぶりに野党と市民の共闘が実現しました。政策的にも一致点を広げてたたかうという、歴史的な選挙となりました。野党統一候補の鳥越俊太郎氏は、参院選で改憲勢力が3分の2の議席を獲得したことに危機感をもち、「自分が東京から平和の声をあげる事が大事だ」と立候補の決意を述べました。

私たちは、鳥越候補とともに安倍政権の改憲策動ストップ、清潔で都民本位、平和と憲法が生きる東京をつくろうと訴えました。これに応じて全都・全国からの鳥越都知事実現のために力を寄せられた、すべてのみなさまに心より敬意を表します。

選挙戦では、小池百合子候補がいつもの反自民の姿勢をとり、改憲、核武装の主張を隠し、いかにも女性の代表であるかのような選挙戦をおこないました。これをマスコミがこぞって応援する一方、鳥越候補に対しては、支配勢力をあげての異常なネガティブキャンペーンが大規模に展開されました。こ

のなかで、草の根から都政要求と結んで鳥越候補を押し出す活動が活発におこなわれました。

鳥越候補は134万6103票を獲得しましたが、およびませんでした。鳥越候補は開票後に、「自公勢力に対抗するためには野党がまとまらなければダメ。都知事選でも野党4党などのみなさんとの共闘で十分なたたかひができた。衆院選でも統一してたたかってほしい」と述べました。今回の都知事選挙で野党と市民の共闘が首都東京でも発展したことは、今後の国政と都政の転換の方向を示すものです。

たたかひはこれからです。私たちは、さらに共闘を広げて憲法を守り生かし、平和と国民のくらしを大切に政治の実現と国際連帯の発展に全力をつくすことを表明するものです。

2016年8月2日

日本AALA代表理事  
同事務局長

小松崎榮 澤田有  
野本久夫



## 南シナ海の対中包囲は不調

中国が南シナ海で主張する権利は国際法上の権利がないとした常設仲裁裁判所（オランダ・ハーグ）の裁定（7/12）をうけ、各国や国連は改めて国際法にもとづく平和的な問題解決を求めました。しかし中国に直接裁定の受け入れをせまる米日などの対中包囲網は不調に終わっています。

裁定にたいし米政府は「裁定は最終的で拘束力がある」「（受け入れなければ）中国に重い代償を払わせる」と強調、各国に同調を呼びかけました。しかし呼びかけにこたえたのは日豪比など6カ国にとどまりました（ロイター通信）。裁定の拒否を表明している中国は「66カ国と100の政党が中国の立場を支持」（人民日報）としています。

仲裁裁判に提訴したフィリピンやベトナムなどは裁定に歓迎を表明したものの、東南アジア諸国連合（ASEAN）は共同声明の発表を見送りました。カンボジアが反対したため全会一致の原則をまげられなかったためです。その後ラオスの首都ビエンチャンで開かれたASEAN外相会議（7/24）の共同声明も「国際法の尊重を基礎にした平和解決」を強調したものの、常設裁判所の裁定はもりこまれません。比のヤセイ外相は27日マニラで「事実は明確であり、国際法の原則を支持し平和的な方法を追求していくとしたASEANの勝利である。実際の解決はフィリピンと中国の問題だ」とのべました。

中国は、裁定前から批判封じの外交を展開。カンボジアへの6億ドルのソフトローン供与などで支持を取り付けたとされています。中国の王毅外相は25日、

「（ASEAN外相らとの会談で）中国の提案が支持と賛同を得た」と強調しました。

## EUも同調せず

欧州連合（EU）のトゥスク大統領は裁定について「国際法を遵守する立場から全面的な信用を置いている」と述べましたが、首脳たちは中国批判を控えています。モゲリ外相が「いずれかの国を支持することはなく中立を守る」と表明しました。EU首脳会議が出した声明は、中国への直接的な言及をさけ、「裁定を承認し、海洋法の法的秩序の維持を誓約する」とのべるにとどめました。英仏独はより明確なメッセージを望んだが、中国と投資関係をもつギリシャやハンガリーが難色を示し、領有権問題をかかえるクロアチアやスロベニアも、仲裁裁定についての前例になることを嫌って賛成しなかったといいます。7/16日ウランバートルで開かれたASEAN欧州（ASEM）首脳会議の声明も、南シナ海問題に言及しませんでした。

米日の強いはたらきかけに、ASEANやEUが同調を控えている意味と背景についてさまざまな分析がおこなわれています。中国が自己の一方的な主張と行動を正当化している是非はともかく、それを押し通している基礎に、否定できない中国の経済的、政治的影響力の増大と米国の世界的な覇権の後退があるとみられているからです。米紙ウォール・ストリート・

ジャーナルは南シナ海問題について、英国のEU離脱や移民問題で苦しむ欧州が中国による世界的な影響力（覇権）を認知するかどうかの試金石になるとの専門家の分析を紹介（7/5）。3兆ドルともいわれる習政権の「一带一路」政策への欧州への期待はそれほど大きく、米国の一国覇権体制から多極化への世界の流れを象徴する出来事だと指摘しました。

## 米の指導性をめぐる論議

米国で民主、共和両党の大統領候補がきまり、11月の投票を目指して選挙戦が本番にはいりました。ヒラリー氏の民主、トランプ氏の共和党とも、世界最強の軍事力の維持など基本政策はかわらないものの、今後の国際秩序と米国の指導性をめぐって専門家が熱い論議をかわしています。

リアリストの専門サイト「ナショナル・インタレスト」に投稿される論考で特徴的なことは、これまで米国の一国覇権主義を唱えてきた人たちのなかから中国や新興諸国の台頭をうけ、多極世界での米国の指導性の維持とあり方を論議するようになってきていることです。この人たちは中国との軍事対決や「封じ込め」は不可能とする点で一致、そうであるなら南シナ海問題で中国の地域覇権を認めて米中協力の体制を整えることこそ現実的な選択だとして、領有権問題の当事者解決を強調しています。

（国際部長 田中靖宏）

### インド問題講演会

#### 岐路に立つ「世界最大の民主主義」—モディ政権下のインド政治

日時 10月13日（木）18:00～20:30

場所 全国教育文化会館

（JR四ツ谷駅・市ヶ谷駅徒歩7分、東京メトロ有楽町線麹町駅5番出口徒歩2分、都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅徒歩7分）

講師 佐藤宏さん（南アジア研究者・元アジア経済研究所研究員）

資料代 500円

## 日本 AALA の存在意義を発揮し、国際署名、会員拡大をすすめ

## 平和・協力・繁栄の東アジア共同体づくりを

理事会の討論では AALA の主要な役割として世界の情勢を構造的にとらえることの重要性が強調されました。テロや難民問題に揺れる世界で、英国の EU 離脱や米大統領選挙でのトランプ現象やサンダース旋風にみられるごとく、世界中で格差と貧困を拡大した新自由主義の破たんが明らかになっています。しかし、米日欧の支配層は、アジアでの軍事同盟の強化とともに中東アフリカへの軍事介入、中南米の左派政権へ干渉をつよめています。安倍政権は、積極的平和主義と称して、憲法 9 条の明文改憲による公然たる「戦争する国づくり」と米軍への戦争協力態勢構築をめざしています。これに対しアジア諸国からは警戒の声があがっています。9 条改憲に反対して東アジアの平和の共同体を追求するとともに、各国の民族自決権を断固として擁護し、あらゆる大国主義、干渉主義に反対して AALA 諸国人民との連帯を強めていくことを確認しました。

以下は、理事会・常任理事会で確認された方針です。

さまざまな形態で参加しましょう

## II 国際署名 2 万筆を超えラオスツアーまでにさらに 1 万筆以上を

「戦争するな！どの国も」国際署名の推進で、埼玉、大阪、東京はそれぞれ 3000 筆を超え、4000 筆に迫っています。9 月中旬の東アジア首脳会議に向けたラオスツアーに、大学生などを派遣するため兵庫県、北海道 AALA が旅費カンパを集めていることが注目されます。

- ① 9 月 20 日までに国際署名 10,000 筆以上を集めましょう
- ② 労組、民主団体などに協力を要請しましょう

## III 会員拡大と財政の強化を 加入促進月間を実りあるものに

福井 AALA が理事会前日に加入者を迎え、念願の 100 人を突破しました。埼玉は今年度 15 人の加入、山形、京都、北海道、茨城などから教訓が報告されました。支部をつくって活動を進めたいとの発言があり、会員拡大のとりくみが広がっています。会費をしっかり集め、財政をゆるぎないものにしましょう。

- ① 9/1 ~ 11/27 加入促進月間とします
- ② 目標：各県 AALA の現会員数の 10% 以上にします

## 理事会での発言

(発言順、敬称略)

- 北村実 (中央) 南シナ海仲裁裁定
- 吉田万三 (東京) 青年の政治意識
- 小林立雄 (宮城) 原水爆禁止ヒバクシャ署名
- 吉岡光則 (山口) 岩国基地強化問題
- 伊藤徳夫 (北海道) 北海道 AALA の活動
- 金森洋司 (福井) 会員 100 名突破
- 井村弘子 (兵庫) 兵庫 AALA の活動
- 林俊光 (茨城) 会員拡大
- 長谷川道弘 (大阪) 学者・研究者の役割発揮
- 正保宏文 (岡山) 会員拡大と駐日大使の講演会
- 那須稔雄 (山形) 参院選野党統一勝利
- 日野川勇一 (栃木) 海外ツアーと支部づくり
- 福田秀俊 (愛知) 会員拡大と支部づくり
- 浅尾剛 (群馬) わかりやすい活動

## IV 秋の学習交流集会の成功と学習活動の充実を

i) 各県 AALA から、複数での参加をお願いします。

- ① 11 月 28 日 (月)、29 日 (火)
- ② 静岡県熱海市、ニューフジャホテルで開催
- ③ 28 日は、萩原伸次郎横浜国大名誉教授の記念講演 (アメリカ大統領選挙と今後：仮題)、基調報告、各県報告、夕食交流会。29 日は井上歩しんぶん赤旗記者の情勢講演 (東アジア共同体に関して：仮題)、各県報告。昼食後、討論。15 時終了予定。



- 岡阿弥靖正 (千葉) 国際署名、NAM、パレスチナ問題
- 河内研一 (埼玉) 創立 40 周年記念誌と会員拡大
- 辻崎忠由 (京都) 会員拡大とシンポのとりくみ
- 後藤ひろみ (東京) 中学生の自衛隊体験と「慰安婦」問題
- 本田久美子 (京都) 京都市長選挙
- 高林敏之 (中央) ジブチなど国際問題
- 和田鈴江 (大阪) 会費と財政活動
- 大西広 (中央) AALA の役割は世界の構造を明確にすること
- 井村弘子 (兵庫) 機関紙紙面の改善を

ii) 複雑な国際情勢を適確に分析・研究する学者・研究者との協力を強め、学習活動をすすめます。

## V その他

- ① 第 53 回日本 AALA 定期大会を、2017 年 7 月に都内で開催することを確認。
- ② 2016 年日本 AALA ラオスツアーを 9 月 22 日から 28 日に開催。国際署名提出、交流、世界遺産見学。
- ③ 9/12 (月) から 9/24 (土) まで、非同盟諸国首脳会議 (NAM) がベネズエラで開催。小松崎代表理事が出席。10/17 (月) から 10/22 (土) まで、アジアアフリカ人民連帯機構 (AAPS) がモロッコで開催。野本事務局長が出席。

## アジアの友人たちへ

先の参議院議員選挙で自公をはじめとする改憲勢力が議席の 3 分の 2 以上を確保し、衆議院とあわせていよいよ国会で改憲が発議できる状態になりました。安倍首相はこれをうけて改憲論議の前にすすめることを表明しました。

安倍首相や改憲勢力の多くは、憲法 9 条の改定によって日本を公然と海外で戦争ができる国にすることをめざしています。過去の戦争の記憶がきえないアジア諸国からは、日本が平和主義をすてて再び軍国主義と海外への軍事的進出の脅威になるのではないかと心配する人たちがいます。

私たちはこのような企てに反対して、参議院選挙で戦争法の廃止と立憲主義の回復とともに改憲勢力の 3 分の 2 阻止を目指してたたかいました。憲法問題を争点からそらしながら中国や北朝鮮の脅威を宣伝する与党にたいして、憲法 9 条にもとづく平和外交でアジアの信頼をえることこそ最大の安全保障と訴えてたたかいました。また東アジアでの平和の共同体構築をめざして「戦争するな、どの国も」の国際署名に取り組んできました。そのなかで憲法破壊の安倍政治に危機感をもつ野党と幅広い市民が連合して歴史的な共闘をおこないました。

その結果、沖縄をはじめ 11 の県で勝利し、野党の得票、得票率とともに前回より大きく前進しました。特に米軍新基地の建設や原発再稼働、TPP が大きな争点となった地域で反対の民意が示されことは全国のたたかひの励ましになりました。議席数のうえでは改憲勢力に 3 分の 2 を許したとはいえ、始まった市民運動と野党共闘の前進は今後のたたかひへの確信となりました。

これらのたたかひのなかで大きな困難をもたらしたのが、東アジアの緊張の問題です。北朝鮮によるたびかさなる核実験やミサイル発射にくわえて南シナ海をめぐる関係国の争いや軍事的な緊張が、マスコミによる扇動的な報道とあまって、日米同盟による日本の軍事的役割拡大の最大の口実となっています。

私たちは、北朝鮮当局にたいして核実験とミサイル実験の停止をもとめます。同時に米韓合同演習など軍事的圧力にも反対します。関係国の政府にたいし 6 カ国協議の早期再開による北朝鮮の核・ミサイル問題の解決と休戦状態の解消にむけた努力を呼びかけます。南シナ海問題について、関係国政府にこれ以上の一方的な現状変更と軍事拠点化をやめるよう要求します。東南アジア諸国連合と中国が交渉している南シナ海行動規範 (COC) の早期成立をふくめた領有権問題の話し合い解決をもとめます。東アジアの領土問題の解決のメカニズム設立にむけた交渉をよびかけます。日米両政府にたいし、南シナ海への軍事的な関与をふくめた介入を慎むよう要求します。

私たちは 非核・非同盟、中立の日本と憲法 9 条にもとづく平和外交を追求する運動を一層強化します。その立場から、すべての国の民族自決権の擁護とアジアの平和と独立、共存を求めてたたかうすべての人々に、協力と連帯の強化をよびかけます。

2016 年 7 月 26 日

日本 AALA 第 52 定期大会第 2 回理事会



## I 改憲阻止、都知事選挙、辺野古新米軍基地建設反対のたたかひ

参議院選挙で、自民党、公明党、おおさか維新など改憲勢力の議席は、改憲発議に必要な参議院定数の 3 分の 2 を超えました。しかし東京新聞の出口調査では、投票した有権者のなかで「改憲反対は 50%、賛成は 32.8%」です。安倍首相は 10 日夜の民放放送で「憲法審査会で議論をして国民投票で改正を問う」と発言しました。改憲の動きを加速しようとしており、許さないたたかひが求められます。

- ① 各都道府県 AALA (以下、各県 AALA) は、署名、学習会、宣伝など地域での運動に参加し、共同のとりくみを強めましょう
- ② 都知事選挙勝利のため各県でとりくみをしましょう
- ③ 辺野古新米軍基地建設反対のたたかひに



「オスプレイパッド工事やめよ!」と抗議する県民を威圧する機動隊

# 沖縄を売るな!

14台が、それぞれ数台の警察車両に守られてやってくる。高江や隣村・大宜味村の人たち数十人が声も枯れよとシュプレヒコール。これを大阪府警の機動隊が壁をつくってガードし威圧する。

## 工事強行の先に憲法改悪

知事、衆議院、県議、参議院などすべての選挙で連戦圧勝した民意を敵視し、法を破って米軍に奉仕する安倍政権。辺野古新基地も高江のオスプレイパッドも国民の税金で日本政府がつくる。県外から動員された若い機動隊員の教育・訓練の場でもある。「緊急事態」条項をねらう改憲派が国会で3分の2議席を占めた事態を軽く見ることはできない。

## 高江から日米同盟を見る

日本 AALA 代表理事 澤田 有

8月1日早朝7時、東村高江の米軍北部訓練場のメインゲート前へ。“オスプレイパッド工事やめろ”の抗議行動だ。安保破棄中央実行委員会の緊急行動に参加した。

到着するや、愛知県警の機動隊員20数人が我々15人をマンツーマンで監視・ガードする。8時、大型ダンプカー2台が前後を警察車両数台に守られて到着。すると機動隊員が横断幕の前に人垣をつくって隠す。「自然を壊さないで」「みんなの力で工事をやめさせよう」のメッセージをそんなに恐れるのか。

### 被害は甚大

オスプレイパッドは直径100メートルの円形に森林を伐採し、斜面を水平に均し、大量の砂利を入れて造成される。今回は7基つくられる。

おびただしい自然破壊で、ここにしかない希少生物を絶滅させる。生態系も変わる。ものすごい騒音と低周波振動で被害も甚大となる。

### 県外の機動隊が 住民を威圧、妨害

8時20分、工事車両進入ゲートへ移動。砂利を積んだダンプ

### アベ売国政治に湧く怒り 沖縄の現実を見てわかること

沖縄・高江から帰った翌8月3日、安倍首相の内閣改造記者会見をテレビで見ました。首相は何とも軽く滑らかな例の調子で、滔々と「抑止力の維持を図りながら沖縄の基地負担を軽減する」と見栄を切ります。沖縄でやっていることのどこが基地負担の軽減か。大嘘を平気で言って恥じないのは、自らの主張に大義も論理的整合性もないことを自ら認めてしまっているからに違いありません。米軍との約束を果たすことが使命で、自国民がどれほど苦しようも痛痒を感じない。首相の大嘘は、ここまで腐敗していることの証明でしょう。

会見で首相は「長時間労働を是正します。同一労働同一賃金を実



現し、『非正規』という言葉がこの国から一掃します」とも言いました。労働時間という概念を捨てて無制限の長時間労働を強いる、正規労働者の賃金を非正規並みに引き下げる、すべての雇用を非正規にして『非正規』という言葉がなくす」という意味です。大資本との約束を果たすためなら、どんな詭弁も厭わない。

沖縄で起きていることをこの目で見れば、安倍政治は売国政治そのものであることが鮮明になります。(澤田 有)



## 東京

### 定期総会開催

7月23日、2016年度の定期総会は、鳥越俊太郎さんを野党共闘の統一候補としてたたかう歴史的な都知事選挙の最中の開催となりました。残念な結果に終わりましたが、全国のAALA組織からご支援いただきましたことに感謝申

し上げます。

安倍政権の内閣改造で「戦争する国」づくりが加速される恐れが高まっています。憲法改悪阻止、安倍政治を許さないたたかいを進め、憲法を生かし「不戦、平和、協力、繁栄の東アジア共同体」をめざす日本AALAの運動はますます重要な意味を持ってきます。東京都AALAの組織として、私たちがどのような活動をするか。また、それにふさわしい組織の拡大強化にとりくむことを意思統一しました。

総会に先だつて、日本AALA国際部長・田中靖宏さんが記念講演をおこないました。演題は「日本AALA60年と今日の課題～中国の海洋進出と連帯運動～」。田



中さんは、中国の横暴なふるまいである南シナ海での「一方的な海洋進出」「力による現状変更」「軍事拠点化」について、さまざまな資料をパワーポイントで解説。報道とのギャップもあるので、なにが横暴か冷静に見る必要があることを示しました。いま注目すべき南シナ海問題をしっかり学び、今後の活動の力にすることができました。

(事務局長 松井幸博)

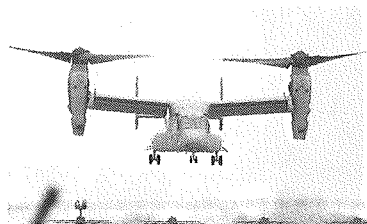
## 米軍横田基地は日米軍事機能の中核

2017年度後半からCV22 オスプレイ 10機が横田基地に配備されようとしています。運用部隊の「特殊作戦航空群指令部」も設置されます。

すでに沖縄の普天間基地に配備されているMV22 オスプレイの主要な任務は兵員と物資の輸送ですが、特殊作戦のために使用するCV22 オスプレイは、より過酷な条件下で運用されます。そのための低空飛行訓練や夜間飛行訓練など、より危険な訓練が住宅密集地の横田基地周辺で実施されます。ミサイル防衛の拠点でもあり、オスプレイの配備も、さらに2015年に再改定された「日米新ガイドライン」により、横田基地は実質的な「日米統合作戦指令部」となりました。

米軍三沢基地に配備されているF-16戦闘機が、7月30日、8月3日、4日に14機横田基地に飛来しました。飛

来の目的は「目的地に向かう途中の中継のため。横田基地は西太平洋の空輸ハブとしての役割を担っている」と説明しています。米空軍は横田基地を、インド・アジア太平洋地域に展開する戦闘機部隊の



横田基地に飛来したMV22

中継基地として強化を図っています。

## 米兵が中学校で「新兵訓練」

米軍横田基地に所属する米兵が7月2日、武蔵村山市立第五中学校の学校行事に参加し、「新兵訓練」(ブート・キャンプ)と称したイベントに生徒を参加させていたことが分かりました。これまで、「防災訓練」と称して高校生を自衛隊の訓練に参加させる事例はありましたが、米兵が中学校に直接出向いたのは前代未聞です。

横田基地のホームページでは、写真十数枚を使って様子を紹介。敬礼する女子生徒の顔写真や、フェイスペイント

をした生徒がほふく前進をする姿、生徒の顔や名前がわかる写真まで使用されており、重大な人権侵害の恐れがあります。

現場責任者の米兵は「われわれの日本駐留に前向きな光を与える」と発言し、首都東京に居座り続けるための宣伝であることを認めています。教育の場を利用した宣伝は許されません。

東京都AALAは教育委員会教育長、学校長に嚴重抗議しました。(松井幸博)

と一息つきませんか?  
オスパールコーヒー

モカとはなんでしょう。イエメン西側の港町の名前です。17～19世紀に栄えたモカの港からコーヒーを輸出していました。サントスもブラジルのコーヒー積出港です。

オスパールコーヒーはモカ、サントスを扱っています。

日本AALAが扱っているマラゴジペはニカラグアで生産される全コーヒー量のわずか1%の希少品です。

ご家庭で職場でモカ、サントス、マラゴジペなどをお楽しみください。

モカ・ウォッシュド ¥1,100/200g

ニカラグア・マラゴジペ ¥1,320/200g

…ご注文…

■工場直通

FAX (049) 254-8158  
TEL (049) 254-6241

■日本AALAホームページ

<http://www.japan-aala.org/>

各地のとりくみから

日本AALA事務所に「国際署名」が返信用封筒で連日寄せられ、8月8日に累計2万筆を超えました。各県AALAのみなさんはこの夏の暑さをものともせずとりくんでいます。ラオスツアーまでにさらに1万筆以上を集めましょう。

○群馬AALAは8月初旬、6団体主催の「平和のための戦争写真展」に参加。大西広・慶大教授の特別講演会には会場の定員を超える60人余が参加し、ナン

海問題を学びました。「国際署名」20筆を集めました。また、TPP批准阻止のとりくみをさらに強める予定です。

○福井AALAは、「国際署名」用紙を返信用封筒とともに全会員に送付しました。毎日2、3通返送されています。9月上旬までに500筆集めようと奮闘しています。また、北信越AALA交流会を10月に開く予定です。

○千葉AALAは「国際署名」約140筆を日本AALA事務所に届けています。県内の団体署名も引き続き、寄せられているとのこと。

お知らせ

9/12 (月)～9/24 (土) …… 非同盟諸国首脳会議 ベネズエラ  
9/22 (木)～9/28 (水) …… 日本AALAラオスツアー (国際署名提出)  
10/13 (木) …… 日本AALAインド問題講演会 (全国教育文化会館)  
10/17 (月)～10/23 (日) …… アジアアフリカ人民連帯機構総会 モロッコ  
10/22 (土)、23 (日) …… 日本平和大会 (青森県三沢市)

わたしと 83



AALA

奈良県AALA理事長  
宮城恭子

AALAの活動に魅せられて  
14年

奈良県AALAは再建14年。NARAALA (ナラーラ) と称し、100人会員を目標にしながらも現在70人で伸び悩み。

毎年3月の総会、夏の納涼会、秋の文化行事を3大恒例行事とし、その他近畿AALAのとりくみや大阪・京都の行事にちゅっかり参加。さらに奈良県独自の取り

組みや会員要求にもとづく活動などを行っています。行事の都度、会員のみなさんに満足していただけるよう、理事会でプランを練ったり、チラシをデザインしたり楽しみつつ、練りながら仕上げるのがモットーです。「世界情勢学習会はナラーラ主催が最高」「もっと世界のこと知りたい、もっと学びたい」と参加者の声。

この1年間は、私たちが長い間平和のうちに安心して生活できる当たり前の日常…日本国憲法で世界に向けた不戦の誓いの結果…を、この国の国家権力の座にいる者たちが大多数の国民の望まぬ方向に舵をきったことに対する怒りの行動に終始。安保法制に反対するとりくみを独自で、あるいは他団体と合同で、街頭署名活動を計19回

おこないました。「自分の意思表示ができてよかった」と会員さん。一方、「戦争するな!どの国も」署名は手つかず状態。「上から目線のもの言い」に引っ掛かりがあったかな?

オスパール・コーヒーへは注文が。焙煎日時や新鮮さが分かるありがたい。またこの販売がAALAやナラーラの財政活動にどうつながるのか教えて欲しい。ばやきが出るのは、実務作業をする「手」が足りないせいでしょうか。会員数は平和委員会や国賠同盟など諸団体の1割。活動費も小額で専従を置く余裕もない。会費の集めかたでも悩みが多い。でも「世界を知り、学び、楽しく活動し連帯する」に魅せられ14年。改善の余地ありそうな私とAALA。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33宮庭ビル4階  
電話: 03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>  
FAX: 03 (3357) 6255 E-mail: [info@japan-aala.org](mailto:info@japan-aala.org)  
振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円 (送料62円)